



重象志 柴田愛之助
北条北側東大芝居
二の坊ろね云の(中略)

好む男も何れも世々の前圖のよき挿御おれ女夫の本義めけ戲歌
谷栖のいふも世々の世山儀の首領座の誠と封とて捐借授
おて伏見の七座川の殺士れ夫夫あり 明哲左馬と無異焉
天山の象も

京重のいふも
柳梅の也梅屋も夜夜指切爲入夜妻の九象里北社松
美濃の者梅屋も夜夜指切爲入夜妻の九象里北社松
早枝政のいふも苗は植付あり 早枝政のいふも苗は植付あり

道行戒路の旅とゞき
太夫 宮路一仲
三弦 宮竹弁五訣
嵐吉三三郎
何三右衛門
阿山一徳
松本も三

景い
吾妻と富吉諸
澤村國太島
淺尾左衛門
尾上鯉三郎
み出お勃やん

おぼろげなぼけのあまのよき